

製品のQCDのコントロールに悩みを抱えていませんか？

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

WEB受講可能！

**出図遅れを減らす！
設計リードタイム短縮・納期遅延対策を実現させる
プロジェクトマネジメント実践講座**

～遅れを減らすための計画と管理のコツ、設計標準プロセスのコツ～

◆日時：2025年2月28日(金) 10:00～17:00 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円
 ◆会場：TH企画セミナールームA ※会場/WEB選択可 同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
 (東京・JR田町駅下車 徒歩約6分) ◆受講資料:製本テキスト(受講料に含)
 ※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円(内税)

**納期遅延の原因・対策,開発管理のポイント、
QCDのバランスをとったプロジェクトマネジメントのノウハウ、
標準プロセスを構築するポイントについて、豊富な経験に基づき、
実践的に詳しく解説する特別セミナー !!**

【講師の言葉】

「納期遅れが減らない」「受注時の想定工数から大幅に超えてしまう」「納期優先で原価検討が後回しになる」など、製品のQCDのコントロールが難しくなっています。それに対応するために、設計開発プロセスの「見える化」や詳細なタスク管理、厳密な納期管理を行っても問題が解消されないことが多いです。なぜ納期遅れが減らないのでしょうか。しっかり・きっちりの納期管理を行っても、設計者にとって負担でしかなく、逆に工数が増えてしまうのです。

プロジェクトマネジメントの成功要因は、設計者にとって「管理させられる」ものではなく、自分たちに有益な【技術の蓄積】というコンセプトが重要となります。技術的な経緯/根拠、設計思想を見える化することを実現しつつ、その上で納期遅延や工数象を抑制するための管理をしていく必要があるのです。

本講座では、このようなコンセプトを実現させるための、製品の品質/原価/納期管理の考え方、管理手法、プロセス標準や技術標準の整備方法、それらを支えるテクノロジー（設計システム）についても解説いたします。管理のための管理、管理の泥沼化に終止符を打ち、製品開発高度化・納期短縮・コスト削減を実現させる方法を学んでください。

【受講形式】会場・WEB ※Live配信のみ（録画視聴はありません） 【進呈】講師著書：儲かるモノづくりのためのPLMと原価企画—設計・製造・会計の連携がもたらす新しい経営手法(東洋経済新報社)を進呈します。

【受講対象】
 ・開発/設計部門
 ・開発管理/設計管理部門
 ・経営企画
 ・事業企画など企画担当の方・改革推進部門
 ・情報システム部門 など

【予備知識】特に必要ありません。
 【習得知識】
 1) 納期遅延の原因や対策を理解できる
 2) 開発管理のポイントが理解できる
 3) QCDのバランスをとったプロジェクトマネジメントが理解できる
 4) 標準プロセスの構築ポイントが理解できる など



●申込書・2025年2月28日(金)「出図遅れを減らす設計リードタイム短縮・納期遅延対策を実現させるプロジェクトマネジメント実践講座」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み予定		通信欄

◆プログラム◆

【講師】 株式会社プリベクト 代表取締役 北山 一真 先生
 IT系コンサルティング会社,製造業系PLMコンサルティング会社ディレクターを経て現在に至る

[基礎編] 1. こんなプロジェクト管理では失敗する
 (1) 詳細な業務プロセスフローを作成し管理する
 (2) 管理強化が中心となり、DR提出図書が年々増えている
 (3) 変更の納期管理は担当者任せになっている
 (4) PJの振り返りをせず、やりっぱなしである

[実践編] 5. 標準業務フロー・タスクの整備
 (1) 管理に適したタスクの粒度を定義する
 (2) 開発ランク毎の標準タスクを整備する
 (3) 図書(成果物)の関係性を見える化する
 (4) チェック業務を簡素化しリードタイム短縮を実現させる

[基礎編] 2. こんな問題をどう解決?
 完璧な答えがないからこそ迷う
 (1) 属人的に開発ランクが決まっている
 (2) 納期設定の根拠がないため適正判断ができない
 (3) 管理専門部署を設けても現場がついてこない
 (4) 経営/品証への会議ばかり増え、現場作業が進まない
 (5) 不具合の横展開を適切にフォローできてない

[実践編] 6. 納期遅延を起こさないためのプロジェクト管理
 (1) 未然防止の考え方が重要(遅れのフォローでは対応が遅い)
 (2) 『着手管理』を取り入れる
 (3) ずさんになりがちな「変更の納期管理」
 (4) 外注設計などの「外部の納期管理」を担当者任せにしない

[基礎編] 3. なぜプロジェクト管理は難しいのか?
 (1) 納期遅れが発生する2つの大きな原因
 (2) PJ管理は怒られたくない気持ち(=パフア)との戦い
 (3) 遅れないPJは絶対に存在しないから難しい

[実践編] 7. 開発根拠を体系的に残すプロジェクト管理
 (1) 技術の経緯と根拠を残すことが重要
 (2) ただ皆で集まるだけのフロントローディングはやめよう
 (3) 脱/流用設計。「標準」で品質レビューを変える

[基礎編] 4. 製品開発におけるプロジェクト管理の考え方
 (1) プロジェクト管理の理想は、「管理しないこと」
 (2) DR図書やチェックリストを減らすことが重要
 (3) プロジェクト管理=納期管理ではない
 (4) 企画量産型と個別受注型で管理方法は異なる

[実践編] 8. 経営視点から見たプロジェクト管理
 (1) DR毎にコストフォローを適切に行っているか
 (2) いい製品を作る「技術(資産)」を残せているか
 (3) PJの振り返り(品質/原価/納期の差異)ができていないか

◆セミナーお申込要領
 ●申し込み方法
 ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
 ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
 ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
 ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。
 ●お支払い方法
 受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にて願います。

[実践編] 9. プロジェクト管理をDX化する
 (1) 納期のExcel管理から脱却
 (2) PLMやBOMと連動したプロジェクト管理基盤を整える
 (3) 企画量産型と個別受注型でのポイント

●申込先 **TH企画セミナーセンター**
 株式会社 TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4-5-1 11-5F
 TEL:03-6435-1138
 FAX:03-6435-3685
 E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0228 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。
<https://www.thplan.com/>